（別記）

# 令和５年度洲本市地域農業活性化協議会水田収益力強化ビジョン

## １　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

＜現状と課題　令和５年度＞

洲本市の耕地面積の大半を占める水田農業は、温暖な気候条件を活かし、伝統的に水稲と露地野菜を組み合わせた二毛作による複合経営が盛んである。中でも野菜は全国的なブランドを誇る玉ねぎやレタスをはじめ、大都市近郊の立地を活かした都市近郊農業が展開されている。このような複合経営においては、水稲作付による野菜の連作障害の回避が重要となることから、麦・大豆への転作ではなく、ＷＣＳ・飼料用米等の新規需要米への転作による水田のフル活用を図っていく必要がある。

他方、農家の高齢化・農家戸数の減少に伴い、重量野菜を扱う複合経営から水稲単作への転換やひいては不作付地の拡大へと進む傾向が見られる。このような中、将来的な不作付地の拡大防止の観点からも、専・兼業農家を含めた二毛作による複合経営の維持が課題となっている。

## ２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

全国的な知名度がある「淡路島たまねぎ」をはじめ、全国でもトップクラスの生産量を誇るレタスや、条件不利地や高齢化においても作りやすい直売所向けのキャベツ・はくさい・ねぎ、食用なばな、ブロッコリーなど、ＪＡ淡路日の出や、関係機関との協力のもと、農家向けの研修会の開催や付加価値向上に向けたＰＲ等の検討など、様々な措置を講じて作付拡大を目指す。

## ３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

水田の有効利用に向けて、担い手の育成や、農地の集積・集約化をすすめていきながら、営農計画書にて同じ圃場で水稲を組み入れない作付けが数年以上定着し、畑作物のみを生産しつづけている事が確認されれば、国や県などの支援を活用し、畑地化の推進を図っていく。

また、生産者の高齢化や担い手不足に伴い、今後も耕作放棄地が増加していくことが予想される。転換作物の安定生産と生産性向上のため、ブロックローテーションの仕組みの導入が有効か否かについて検討していく。

## ４　作物ごとの取組方針等

市内の約 1968ha（不作付地を含む）の水田について、適地適作や環境との共生を基本として、産地交付金を有効に活用しながら、作物生産の維持、拡大を図ることとする。また、認定農業者や集落営農等の地域の中心経営体への集積により、経営コストの削減を図っていく。

（１）主食用米

売れる米づくりの推進に向けて、需要動向に応じた計画的な作付けを推進し、消費者ニーズを踏まえながら、安全・安心な米の生産を図ることとする。

（２）備蓄米
現在、作付なし。今後の生産拡大を検討する。

（３）非主食用米
ア　飼料用米
令和４年度はSGSの取組があった。問い合わせも増えており、域内での生産量拡大を図っていく。

イ　米粉用米
現在、作付なし。今後需要の創造を検討する。

ウ　新市場開拓用米
今後、市場開拓の拡大について検討を行っていく。

エ　WCS用稲
平成23年4ha→平成26年46ha→平成29年88ha→令和2年105ha→令和4年114 haと年々増加してきている。今後も引き続き拡大を図る。

オ　加工用米
令和４年は作付なしだが、ＪＡ淡路日の出と協力のもと、生産量の拡大を図っていく。

（４）麦、大豆、飼料作物
飼料作物は、地域の畜産農家の経営安定を図るための重要な作物であり、畜産農家の減少に伴う需要量減少が懸念されていたが、このところの飼料作物の高騰により、自給飼料生産の推進と地域内での耕畜連携の取組みや自給飼料促進が必要であり、今後も現状面積の維持を図る。

（５）そば、なたね
「洲本市菜の花エコプロジェクト」を通じてなたね栽培を推進してきたが、近年は減少傾向にある。その他の転作作物の奨励も含めて、今後の方向性を検討していく。

（６）地力増進作物
連作障害回避のため、産地交付金を活用し、地力増進作物と地域振興作物の輪作体系の確立を目指す。

（７）高収益作物
本市においては、たまねぎ・レタス・白菜等が国の指定産地となっており、また、キャベツ・ピーマン・いちご、ねぎ、ブロッコリー、食用なばな等が兵庫県の指定産地となっている。これらの多くは、主に京阪神市場に出荷されており、高い評価を受けているものの、二毛作によるたまねぎ等の重量野菜の生産量は高齢化等により減少傾向にある。水田の不作付地化を防ぎ、フル活用を進めるためにも、これらの高収益作物作付面積の維持・拡大を図っていく。

このほか、地産地消を進めるため、条件不利地や高齢化においても作りやすい直売所仕向けの野菜類の拡大を図る。

（８）畑地化

R5 年度中に畑地化すべき水田を集約し、将来的に国や県などに支援を要望する。

## ５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

## ５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

| 作物等 | 前年度作付面積等 | | 当年度の作付予定面積等 | | 令和５年度の作付目標面積等 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | うち二毛作 | | うち二毛作 | | うち二毛作 |
| 主食用米 | 708 | | 741 | | 741 | |
| 備蓄米 | | | | | | |
| 飼料用米 | 1.7 | | 1 | | 1 | |
| 米粉用米 | | | | | | |
| 新市場開拓用米 | | | | | | |
| WCS用稲 | 114 | | 115 | | 120 | |
| 加工用米 | | | | | | |
| 麦 | 1.3 | 1.3 | 1.5 | 0.1 | 2 | 1 |
| 大豆 | 1.4 | 0.02 | 1.5 | 0.5 | 2 | 1 |
| 飼料作物 | 342 | 183 | 345 | 180 | 365 | 190 |
| ・子実用とうもろこし | | | | | | |
| そば | | | | | | |
| なたね | 15 | 2.8 | 13 | 2 | 13 | 2 |
| 地力増進作物 | 4.4 | 1.2 | 7 | 2 | 15 | 5 |
| 高収益作物 | 183 | 129 | 172.8 | 116.8 | 231 | 150 |
| ・野菜 | 183 | 129 | 172.3 | 116.8 | 230 | 150 |
| ・花き・花木 | | | | | | |
| ・果樹 | | | 0.5 | | 1 | |
| ・その他の高収益作物 | | | | | | |
| その他 | | | | | | |
| | | | | | | |
| 畑地化 | | | | | | |

## ６　課題解決に向けた取組及び目標

| 整理番号 | 対象作物 | 使途名 | 目標 | 前年度（実績） | 目標値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | たまねぎ<br>レタス(レタス全般)<br>ピーマン<br>いちご<br>キャベツ<br>はくさい<br>ねぎ<br>食用なばな<br>ブロッコリー<br>いちじく<br>みつ源れんげ | 基本助成　たまねぎ他１０種 | 作付面積拡大<br>直売所数 | （４年度）5,098a<br>（４年度）10か所 | （５年度）5,600a<br>（５年度）11か所 |
| 2 | たまねぎ | 基本助成　二毛作たまねぎ①(二毛作) | 作付面積拡大<br>直売所数 | （４年度）4,531a<br>（４年度）10か所 | （５年度）5,520a<br>（５年度）11か所 |
| 3 | たまねぎ | 基本助成　二毛作たまねぎ②(二毛作) | 作付面積拡大<br>直売所数 | （４年度）5,740a<br>（４年度）10か所 | （５年度）6,160a<br>（５年度）11か所 |
| 4 | 麦<br>大豆<br>飼料作物<br>飼料用米<br>米粉用米<br>WCS用稲<br>加工用米<br>そば | 戦略作物、そば（なたね除く）二毛作助成(二毛作) | 作付面積拡大<br>堆肥流通助成件数 | （４年度）18,469a<br>（４年度）250件 | （５年度）18,600a<br>（５年度）335件 |
| 5 | なたね(搾油用) | 二毛作助成なたね（搾油用）(二毛作) | 作付面積拡大<br>取組人数 | （４年度）97a<br>（４年度）35人 | （５年度）175a<br>（５年度）41人 |
| 6・7 | 飼料作物<br>飼料用米<br>WCS用稲 | 耕畜連携助成(耕畜連携)<br>耕畜連携助成（耕畜連携・二毛作） | 作付面積拡大<br>堆肥流通助成件数 | （４年度）11,703a<br>（４年度）250件 | （５年度）11,550a<br>（５年度）335件 |
| 8・9 | 飼料作物 | 飼料作物による土地利用集積加算<br>飼料作物による土地利用集積加算（二毛作） | 作付面積拡大<br>堆肥流通助成件数 | （４年度）3,252a<br>（４年度）250件 | （５年度）3,150a<br>（５年度）335件 |

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

## 7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：兵庫県

協議会名：洲本市地域農業活性化協議会

| 整理番号 | 使途<br>※1 | 作期等<br>※2 | 単価<br>（円/10a） | 対象作物<br>※3 | 取組要件等<br>※4 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 基本助成　たまねぎ他10種 | 1 | 13,000 | たまねぎ、レタス（レタス類全般）、ピーマン、いちご、キャベツ、はくさい、ねぎ、食用なばな、ブロッコリー、いちじく、みつ源れんげ | 作付面積に応じて支援 |
| 2 | 基本助成　二毛作たまねぎ①(二毛作) | 2 | 7,000 | たまねぎ | 10a～50aの作付面積に応じて支援 |
| 3 | 基本助成　二毛作たまねぎ②(二毛作) | 2 | 11,000 | たまねぎ | 50a以上の作付面積に応じて支援 |
| 4 | 戦略作物、そば（なたね除く）二毛作助成(二毛作) | 2 | 8,000 | 麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば | 作付面積に応じて支援 |
| 5 | 二毛作助成なたね（搾油用）(二毛作) | 2 | 10,000 | なたね（搾油用） | 作付面積に応じて支援 |
| 6 | 耕畜連携助成(耕畜連携) | 3 | 12,000 | 飼料作物、飼料用米、WCS用稲 | 取組面積に応じて支援 |
| 7 | 耕畜連携助成（耕畜連携・二毛作） | 4 | 12,000 | 飼料作物、飼料用米、WCS用稲 | 取組面積に応じて支援 |
| 8 | 飼料作物による土地利用集積加算 | 1 | 8,000 | 飼料作物 | 取組面積に応じて支援 |
| 9 | 飼料作物による土地利用集積加算（二毛作） | 2 | 8,000 | 飼料作物 | 取組面積に応じて支援 |

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

# ８　産地交付金の活用方法の明細

１．地域農業再生協議会名

| |
|---|
| 洲本市地域農業活性化協議会 |

２．活用予定額の総括表

（単位：円）

| 協議会等名 | 配分枠（A+B） | | | 活用予定額 |
|---|---|---|---|---|
| | | 当初配分<br>(A) | 追加配分<br>(B) | |
| 洲本市地域農業活性化協議会 | 49,111,000 | 49,111,000 | | 49,111,000 |

（注）追加配分が未定の段階にあっては、該当箇所を空欄により作成することとします。

## 3. 活用方法

配分枠

49,111,000円

| 整理番号 | 使途 ※1 | 作期等 ※2 | 単価① (円/10a) | 面積 (a単位)※3 | | | | | | | | | | | | | | | | 合計② ※5 | 所要額 ①×② (円) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 戦略作物 | | | | | | | 新市場開拓用米 | そば | なたね | 地力増進作物 | 高収益作物 | | | | その他 | | |
| | | | | 麦 | 大豆 | 飼料作物 | 米粉用米 | 飼料用米 | WCS用稲 | 加工用米 | | | | | 野菜 | 花き・花木 | 果樹 | その他の高収益作物 | | | |
| 1 | 基本助成 たまねぎ他10種 | 1 | 13,000 | | | | | | | | | | | | 5,450 | | 50 | | 100 | 5,600 | 7,280,000 |
| 2 | 基本助成 二毛作たまねぎ①(二毛作) | 2 | 7,000 | | | | | | | | | | | | 5,520 | | | | | 5,520 | 3,864,000 |
| 3 | 基本助成 二毛作たまねぎ②(二毛作) | 2 | 11,000 | | | | | | | | | | | | 6,160 | | | | | 6,160 | 6,776,000 |
| 4 | 戦略作物、そば(なたね除く)二毛作助成(二毛作) | 2 | 8,000 | 100 | | 18,500 | | | | | | | | | | | | | | 18,600 | 14,880,000 |
| 5 | 二毛作助成なたね(搾油用)(二毛作) | 2 | 10,000 | | | | | | | | | | 175 | | | | | | | 175 | 175,000 |
| 6 | 耕畜連携助成(耕畜連携) | 3 | 12,000 | | | 4,550 | | | 6,000 | | | | | | | | | | | 10,550 | 12,660,000 |
| 7 | 耕畜連携助成(耕畜連携・二毛作) | 4 | 12,000 | | | 797 | | | | | | | | | | | | | | 797 | 956,000 |
| 8 | 飼料作物による土地利用集積加算 | 1 | 8,000 | | | 2,800 | | | | | | | | | | | | | | 2,800 | 2,240,000 |
| 9 | 飼料作物による土地利用集積加算(二毛作) | 2 | 8,000 | | | 350 | | | | | | | | | | | | | | 350 | 280,000 |
| 合計(基幹)※4 | | | 実面積 | | | 7,495 | | | 6,000 | | | | | | 5,400 | | 50 | | 100 | 19,045 | 49,111,000 ※6 |
| 合計(二毛作)※4 | | | 実面積 | 100 | | 19,600 | | | | | | | 175 | | 11,680 | | | | | 31,555 | |

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。
ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。
※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3 「面積」は、当初配分により支援を行う使途について記入し、追加配分により支援を行う使途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。
※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。
また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。
※5 ②の合計は、各使途の合計面積を記入してください。
※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。
(注)使途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

## ４. 追加配分等を受けた場合の調整方法

単価調整係数（小数点第４位以下切り捨て）＝（（（追加配分額 ＋ 当初配分額）－ 整理番号⑤の所要額） ÷ （当初配分額 － 整理番号⑤の所要額）
整理番号⑤以外は、上限5,000円とし、それぞれに単価調整係数（小数点第４位以下切り捨て）を乗じ、単価調整（千円未満切り捨て）を行う。
整理番号⑤については単価調整は行わないものとする。
なお、各使途について、上限額まで充当してもなお残余がある場合、整理番号⑤を除く使途に一律に＋2,000円を上限として追加助成する。
減額調整時は、減少額に応じて調整する。
支援単価の優先順位は　整理番号１．８．９．２．３．６．７．４の順とする。

注　転換作物拡大加算及び高収益作物等拡大加算の配分額の調整を行う場合等についても必要に応じて記載してください。

## ５. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

１　整理番号⑤については単価調整は行わないものとする。
２　単価調整係数（小数第４位以下切り捨て）＝（「配分額－⑤の所要額）／（計画単価による所要額の合計－⑤の所要額）
３　整理番号⑤以外のそれぞれに上記の単価調整係数（小数点第４位以下切り捨て）を乗じ、単価調整（千円未満切り捨て）を行う。
４　減額調整の際の優先順位は次の整理番号の順に行う。４、７、６、３、２、９、８、１

## ６. 高収益作物について

注1 産地交付金で支援する作物のうち、高収益作物に該当する作物名（野菜、花き・花木、果樹除く）を記載してください。
注2 収益性のわかるデータを添付してください。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 協議会名 | 洲本市地域農業活性化協議会 | 整理番号 | 1 |
| 使途名 | 基本助成　たまねぎ他１０種 | | |
| 対象作物 | たまねぎ、レタス（レタス類全般）、ピーマン、いちご、キャベツ、はくさい、ねぎ、食用なばな、ブロッコリー、いちじく、みつ源れんげ | | |
| 単　価 | 13,000円/10a（追加配分額の配分額に応じて、13,000円～18,000円/10a） | | |
| 課　題 | 本市においては、たまねぎ、レタス、はくさいが国の指定産地、ピーマン・いちご、ねぎ、食用なばな、ブロッコリーが兵庫県の指定産地となっており、これらの多くは、主に京阪神市場に出荷されており、高い評価を受けているものの、これらの生産量は高齢化等により減少傾向にある。<br>また、いちじくは、傷みやすいという商品特性があるが、淡路の温暖な気候、消費地に近い点を活かし、他産地よりも完熟に近い商品を長期間にわたり供給することが可能である。また、はちみつについても淡路の温暖な気候を活かした特産品となっており、みつ源れんげについても同様に振興作物である。<br>有利な販売をすすめるためには、高品質果実等の生産拡大により市場のシェア拡大が必要であるが、生産者の高齢化に加え担い手が不足しているというのが現状である。<br>地産地消を進めるため、条件不利地や高齢化においても作りやすい直売所仕向けのキャベツ・はくさい・ねぎ、食用なばな、ブロッコリーの拡大を図るとともに、平成30年4月からオープンしたJA淡路日の出の直売所や、市内数か所で開催されている集落ぐるみでの直売所など、供給先も多くあり、新規就農者や担い手の確保を行いながら、水田のフル活用を進めるためにも、これらの高収益作物作付面積の維持・拡大を図る必要がある。 | | |

目　標

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積拡大 | 目標 | 5,810a | 5,500a | 5,550a | 5,600a |
| | 実績 | 5,412a | 5,468a | 5,098a | － |
| 直売所数 | 目標 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | 11か所 |
| | 実績 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | － |

| | |
|---|---|
| 内　容 | 本地域においてブランドが確立されているたまねぎ、レタス、指定野菜であるキャベツ、はくさい、ピーマン、いちご等の作付の振興をはかるため、作付面積に応じて助成を行っていく。 |
| 具体的要件 | 1　対象者<br>実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取り組む農業者又は集落営農。<br>2　対象農地<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）別紙1に定める水田。<br>3　対象作物、面積<br>対象作物欄に記載の作物の作付面積。いちじくについては、令和3年度以降に植栽されたもの。<br>4　適切な生産であること<br>実施要綱Ⅳ第2の1の(9)を満たすこと。<br>5　出荷・販売をともなわない作物の取扱い<br>①みつ源れんげ：みつ源れんげとして作付され、養蜂農家と契約されていること。<br>②いちじく：適切な肥培管理を行うこと |
| 取組の確認方法 | 1　対象者<br>実施要綱Ⅲの2により確認する。<br>2　対象水田の確認<br>水田台帳、過去の生産調整実績により確認する。<br>3　対象作物、面積の確認<br>現地確認（原則として生産年の7月1日を基準（たまねぎについては4月1日を基準）、確認ができない作物は別途基準日を設定）で営農計画書に記載された対象作物が作付けされていることを目視により確認する。<br><br>4　適切な生産であることの確認<br>現地確認（原則として生産年の7月1日を基準（たまねぎについては4月1日を基準）、確認ができない作物は別途基準日を設定）で目視により確認する。<br>5　取組用件の確認方法<br>販売伝票、作業日誌等の出荷・販売等を行ったことが分かる書類により確認する。<br>みつ源れんげについては、養蜂農家の契約書により確認する。 |
| 成果等の確認方法 | 当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。 |
| 備考 | 支援年限はR8年　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。*いちじくに関しては、植栽から3年を支援年限とする。 |

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

<table>
<tr><td>協議会名</td><td colspan="5">洲本市地域農業活性化協議会</td><td>整理番号</td><td>2</td></tr>
<tr><td>使途名</td><td colspan="7">基本助成　二毛作たまねぎ①(二毛作)</td></tr>
<tr><td>対象作物</td><td colspan="7">たまねぎ</td></tr>
<tr><td>単　価</td><td colspan="7">7,000円/10a（追加配分額の配分額に応じて、7,000円～12,000円/10a）</td></tr>
<tr><td>課　題</td><td colspan="7">本市においては、たまねぎが国の指定産地となっており、これらの多くは、主に京阪神市場に出荷されており、高い評価を受けているものの、二毛作によるたまねぎの生産量は高齢化等により減少傾向にある。一定規模に加算することにより、たまねぎの作付面積の増加を目的としており、水田のフル活用を進めるためにも、これらの高収益作物作付面積の維持・拡大を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">目　標</td><td colspan="2"></td><td>令和2年度</td><td>令和3年度</td><td>令和4年度</td><td colspan="2">令和5年度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">作付面積拡大<br>（10a～50a）</td><td>目標</td><td>5,870a</td><td>5,500a</td><td>5,510a</td><td colspan="2">5,520a</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>5,366a</td><td>5,133a</td><td>4,531a</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">直売所数</td><td>目標</td><td>10か所</td><td>10か所</td><td>10か所</td><td colspan="2">11か所</td></tr>
<tr><td>実績</td><td>10か所</td><td>10か所</td><td>10か所</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td>内　容</td><td colspan="7">本地域においてブランドが確立されているたまねぎ作付の振興をはかるため、二毛作のたまねぎについて、作付面積に応じ（10a以上～50a未満の作付面積）助成を行っていく。</td></tr>
<tr><td>具体的要件</td><td colspan="7">1　対象者<br>実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取り組む農業者又は集落営農。<br>2　対象農地<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）別紙1に定める水田。<br>3　対象作物、面積<br>対象作物：たまねぎ<br>作付面積：10a以上～50a未満<br>4　適切な生産であること<br>実施要綱Ⅳ第2の１の(9)を満たすこと。</td></tr>
<tr><td>取組の<br>確認方法</td><td colspan="7">1　対象者<br>実施要綱Ⅲの2により確認する。<br>2　対象水田の確認<br>水田台帳、過去の生産調整実績により確認する。<br>3　対象作物、面積の確認<br>現地確認（原則として生産年の４月１日を基準、確認ができない作物は別途基準日を設定）で営農計画書に記載された対象作物が作付けされていることを目視により確認する。<br>4　適切な生産であることの確認<br>現地確認（原則として生産年の４月１日を基準、確認ができない作物は別途基準日を設定）で目視により確認する。<br>5　取組用件の確認方法<br>販売伝票、作業日誌等の出荷・販売等を行ったことが分かる書類により確認する。</td></tr>
<tr><td>成果等の<br>確認方法</td><td colspan="7">当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="7">支援年限はR8年　　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。</td></tr>
</table>

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 協議会名 | 洲本市地域農業活性化協議会 | 整理番号 | 3 |
| 使途名 | 基本助成　二毛作たまねぎ②(二毛作) | | |
| 対象作物 | たまねぎ | | |
| 単　価 | 11,000円/10a（追加配分額の配分額に応じて、11,000円～16,000円/10a） | | |
| 課　題 | 本市においては、たまねぎが国の指定産地となっており、これらの多くは、主に京阪神市場に出荷されており、高い評価を受けているものの、二毛作によるたまねぎの生産量は高齢化等により減少傾向にある。一定規模に加算することにより、たまねぎの作付面積の増加を目的としており、水田のフル活用を進めるためにも、これらの高収益作物作付面積の維持・拡大を図る必要がある。 | | |

目　標

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積拡大（50a～） | 目標 | 5,000a | 6,140a | 6,150a | 6,160a |
| | 実績 | 6,088a | 5,298a | 5,740a | － |
| 直売所数 | 目標 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | 11か所 |
| | 実績 | 10か所 | 10か所 | 10か所 | － |

| | |
|---|---|
| 内　容 | 本地域においてブランドが確立されているたまねぎ作付の振興をはかるため、二毛作のたまねぎについて、作付面積に応じ（50a以上の作付面積）助成を行っていく。 |
| 具体的要件 | 1　対象者<br>実需者等に出荷・販売することを目的として、対象作物の生産に取り組む農業者又は集落営農。<br>2　対象農地<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）別紙1に定める水田。<br>3　対象作物、面積<br>対象作物：たまねぎ<br>作付面積：50a以上<br>4　適切な生産であること<br>実施要綱Ⅳ第2の１の(9)を満たすこと。 |
| 取組の確認方法 | 1　対象者<br>実施要綱Ⅲの2により確認する。<br>2　対象水田の確認<br>水田台帳、過去の生産調整実績により確認する。<br>3　対象作物、面積の確認<br>現地確認（原則として生産年の4月１日を基準、確認ができない作物は別途基準日を設定）で営農計画書に記載された対象作物が作付けされていることを目視により確認する。<br>4　適切な生産であることの確認<br>現地確認（原則として生産年の4月１日を基準、確認ができない作物は別途基準日を設定）で目視により確認する。<br>5　取組用件の確認方法<br>販売伝票、作業日誌等の出荷・販売等を行ったことが分かる書類により確認する。 |
| 成果等の確認方法 | 当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。 |
| 備考 | 支援年限はR8年　　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。 |

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 協議会名 | 洲本市地域農業活性化協議会 | 整理番号 | 4 |
| 使途名 | 戦略作物、そば（なたね除く）の二毛作助成(二毛作) | | |
| 対象作物 | 麦、大豆、飼料作物、飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米、そば | | |
| 単　価 | 8,000円/10a（追加配分額の配分額に応じて、8,000円～13,000円/10a） | | |
| 課　題 | 飼料作物は、地域の畜産農家の経営安定を図るための重要な作物であり、畜産農家の減少に伴う需要量減少が懸念されるが、自給飼料生産の推進と地域内での二毛作においての耕畜連携の取組みや自給飼料を促進し、今後も作付面積の維持・拡大を図る。 | | |

目　標

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積拡大 | 目標 | 19,000a | 18,500a | 18,550a | 18,600a |
| | 実績 | 18,335a | 17,979a | 18,469a | － |
| 堆肥流通助成件数 | 目標 | 350件 | 325件 | 330件 | 335件 |
| | 実績 | 320件 | 325件 | 250件 | － |

| | |
|---|---|
| 内　容 | 当年産において、「主食用米と戦略作物」又は「戦略作物同士」の組み合わせによる二毛作を行う場合に、二毛作として作付する戦略作物、そば（なたね除く）の作付面積に応じて交付する。 |
| 具体的要件 | 1　対象者<br>上記対象作物による二毛作に取り組む販売農家または集落営農<br>2　対象水田<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）別紙1に定められた水田。<br>3　対象面積<br>麦、大豆、飼料作物、そば:　営農計画に記載された作付面積<br>飼料用米、米粉用米、WCS用稲、加工用米　:　需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に基づき認定された面積<br>4　その他<br>各品目ごとに、以下の要件を満たすこと。<br>（麦、そば）　農協等と実需者等との間で締結された販売契約に基づく農協等との出荷契約又は実需者との販売契約を締結していること。<br>（大豆）　農協等との出荷契約又は実需者等との販売契約を締結していること。<br>（飼料作物）　実需者等との利用供給協定を締結していること。自らの畜産経営に供する目的で生産する場合は、自家利用計画を策定していること。<br>（飼料用米、米粉用米）　新規需要米取組計画又は、生産製造連携事業計画の認定を受けていること。飼料用米は、流通コストを抑えるため、県内の畜産農家等への出荷、販売を行う県内流通による飼料用米生産の取り組みであること。<br>（WCS用稲）　新規需要米取組計画の認定を受けていること。<br>（加工用米）　加工用米取組計画の認定を受けていること。<br><br>※麦、大豆、そば のうち、自家加工については、「畑作物の直接支払交付金に係る自家加工販売（直売所等での販売）計画書兼出荷・販売等実績報告書」を作成すること。直売所での販売については、直売所と取引契約を締結するか又は直売所の名称、所在地、連絡先、対象作物の年間販売予定数量などを記載した計画書を作成すること。 |
| 取組の確認方法 | 1　対象者の確認<br>実需者との間で締結された販売契約及び新規需要米取組計画、加工用米取組計画で確認する。<br>2　対象水田の確認<br>水田台帳、過去の生産調整実績により確認する。<br>3　対象作物及び面積の確認<br>実施要綱Ⅳの第2の１の(5)に記載のとおり。<br>4　適切な生産であることの確認<br>・出荷伝票等の販売が確認できる資料により確認する。<br>・契約書等の写しにより確認する。 |
| 成果等の確認方法 | 当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。 |
| 備考 | 1　戦略作物同士の組み合わせによる二毛作に取り組む場合は、営農計画書において、二毛作として生産する戦略作物、面積を申告する。<br>2　それぞれの戦略作物の耕作者が異なる場合においては、いずれか一方が二毛作助成となるよう、関係者間で調整のうえ、営農計画書を提出する。<br><br>支援年限はR8年　　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。 |

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 協議会名 | 洲本市地域農業活性化協議会 | 整理番号 | 5 |
| 使途名 | 二毛作助成なたね（搾油用）（二毛作） | | |
| 対象作物 | なたね（搾油用） | | |
| 単　価 | 10,000円／10a | | |
| 課　題 | 「洲本市菜の花エコプロジェクト」の推進により、なたねの栽培面積の拡大を目指してきたが、近年は減少傾向にある。機械の共同利用も進んでおり、引き続き各農家の状況にあわせて、新規需要米、飼料作物等とともに転換作物の選択肢の一つとして推奨していく。 | | |

目　標

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積拡大 | 目標 | 135a | 102a | 170a | 175a |
| | 実績 | 102a | 166a | 97a | － |
| 取組人数 | 目標 | 55人 | 29人 | 40人 | 41人 |
| | 実績 | 28人 | 39人 | 35人 | － |

| | |
|---|---|
| 内　容 | 当年産において、「主食用米となたね」又は「戦略作物となたね」の組み合わせによる二毛作を行う場合に、二毛作として作付するなたねの作付面積に応じて交付を行っていく。 |
| 具体的要件 | 1　対象者<br>上記対象作物による二毛作に取り組む販売農家または集落営農<br>2　対象水田<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）別紙1に定められた水田。<br>3　対象面積<br>なたね：　営農計画に記載された作付面積<br>4　その他<br>農協等と実需者等との間で締結された販売契約に基づく農協等との出荷契約又は実需者との販売契約を締結していること。<br>自家加工については、「畑作物の直接支払交付金に係る自家加工販売（直売所等での販売）計画書兼出荷・販売等実績報告書」を作成すること。直売所での販売については、直売所と取引契約を締結するか又は直売所の名称、所在地、連絡先、対象作物の年間販売予定数量などを記載した計画書を作成すること。 |
| 取組の確認方法 | 1　対象者の確認<br>実需者との間で締結された販売契約で確認する。<br>2　対象水田の確認<br>水田台帳、過去の生産調整実績により確認する。<br>3　対象作物及び面積の確認<br>実施要綱Ⅳの第2の１の⑸に記載のとおり。<br>4　適切な生産であることの確認<br>出荷伝票等の販売が確認できる資料により確認する。 |
| 成果等の確認方法 | 当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。 |
| 備考 | 1　戦略作物同士の組み合わせによる二毛作に取り組む場合は、営農計画書において、二毛作として生産する戦略作物、面積を申告する。<br>2　それぞれの戦略作物の耕作者が異なる場合においては、いずれか一方が二毛作助成となるよう、関係者間で調整のうえ、営農計画書を提出する。<br><br>支援年限はR8年　　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。 |

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 協議会名 | 洲本市地域農業活性化協議会 | 整理番号 | 6.7 |
| 使途名 | 耕畜連携助成（基幹・耕畜連携・二毛作） | | |
| 対象作物 | 飼料作物、飼料用米、WCS用稲 | | |
| 単　価 | 12千円/10a（追加配分額の配分額に応じて、12千円～17千円/10a） | | |
| 課　題 | 飼料作物は、地域の畜産農家の経営安定を図るための重要な作物であり、畜産農家の減少に伴う需要量減少が懸念されるが、自給飼料生産の推進と地域内での耕畜連携の取組みや自給飼料を促進し、今後も作付面積の維持・拡大を図る。 | | |

| 目　標 | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積拡大 | 目標 | 9,390a | 11,460a | 11,500a | 11,550a |
| | 実績 | 11,043a | 11,300a | 11,703a | － |
| 堆肥流通助成件数 | 目標 | 350件 | 325件 | 330件 | 335件 |
| | 実績 | 320件 | 325件 | 250件 | － |

| | |
|---|---|
| 内　容 | 飼料作物等（基幹・二毛作）を作付する又は作付した水田で耕畜連携（わら利用、水田放牧、資源循環）の取組を行う場合に、その取組面積に応じて交付を行っていく。 |
| 具体的要件 | 1　対象者<br>水田で耕畜連携の取組を行う販売農家または集落営農<br>2　対象水田<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）別紙1に定められた水田。<br>3　対象面積<br>営農計画に記載された飼料作物等の作付面積。<br>4　利用供給協定の締結<br>耕畜連携の取組を行うものは、連携の相手方となるものとの間に、3年間以上を締結期間とする利用供給協定を締結すること。（自家利用の場合は自家利用計画を策定）<br>5　その他<br>（1）各取組ごとに、以下の要件を満たすこと。<br><br>（わら利用）　わら専用稲の生産及び飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組。<br>①当年産において、わら専用稲及び飼料用米の作付が行われている水田であること<br>②そのわらが確実に飼料として利用され、かつ、その子実が飼料又は飼料の種苗として利用される稲の作付であること<br>③利用供給協定に次の事項が含まれていること<br>1）取組の内容、2）わらを生産する者、3）わらを収集する者、4）わらを利用する者、5）ほ場の場所及び面積、6）刈取り時期、7）利用供給協定締結期間、8）わら取引の条件（作業分担・品代・経費負担）、9）その他必要な事項<br>④飼料用米は、流通コストを抑えるため、県内の畜産農家等への出荷、販売を行う県内流通による飼料用米生産の取り組みであること。<br>（水田放牧）　飼料作物の作付水田における牛の放牧の取組。<br>①当該年度における放牧の取組であること<br>②利用供給協定に次の事項が含まれていること<br>1）取組の内容、2）飼料作物を生産する者、3）牛群を管理する者、4）ほ場の場所及び面積、5）牛の入退牧の時期及び放牧頭数、6）利用供給協定締結期間、7）水田放牧の条件（作業分担・品代・経費負担）、8）その他必要な事項<br><br>（資源循環）　水田で生産された粗飼料作物等の供給を受けた家畜の排せつ物から生産されたたい肥を粗飼料作物等を作付する又は作付した水田に施肥する取組。<br>①当該年度におけるたい肥の散布の取組であること<br>②利用供給協定に次の事項が含まれていること<br>1）取組の内容、2）供給される飼料作物の種類、3）飼料作物を生産する者、4）堆肥を散布する者、5）ほ場の場所及び面積、6）堆肥の散布時期及び量、7）利用供給協定締結期間、8）堆肥散布の条件（作業分担・品代・経費負担）、9）その他必要な事項<br><br>（2）飼料用米及びWCS用稲は、需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に基づき、新規需要米取組計画の認定を受けていること。 |
| 取組の確認方法 | 1　対象者の確認<br>営農計画書及び利用供給協定（自家利用計画）により確認する。<br>2　対象水田の確認<br>水田台帳、過去の生産調整実績により確認する。<br>3　対象作物及び面積の確認<br>実施要綱Ⅳの第2の1の(5)に記載のとおり。<br>4　適切な生産であることの確認<br>・販売伝票、作業日誌等により確認する。<br>・契約書等の写しにより確認する。<br>・種子伝票等の写しにより確認する。 |
| 成果等の確認方法 | 当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。 |
| 備考 | 同一ほ場で本使途の対象作物が2回以上作付されている場合は、1回のみの助成とする。<br><br>支援年限はR8年　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。 |

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 産地交付金の活用方法の明細（個票）

| 協議会名 | 洲本市地域農業活性化協議会 | 整理番号 | 8・9 |
|---|---|---|---|
| 使途名 | 飼料作物による土地利用集積加算（基幹・二毛作） | | |
| 対象作物 | 飼料作物（詳細は別添のとおり） | | |
| 単　価 | 8,000円/10a（追加配分額の配分額に応じて、8,000円～13,000円/10a） | | |
| 課　題 | 飼料作物を増産し、水田を有効に活用する為、水田において大規模に飼料作物を栽培している畜産農家を奨励することや、畜産農家からの需要で規模拡大が必要であるため、それに要する農家の負担を軽減及びコスト減の取り組みのため、土地利用集積が必要である。 | | |

目　標

| | | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 作付面積拡大 | 目標 | 2,750a | 3,000a | 3,100a | 3,150a |
| | 実績 | 2,949a | 3,006a | 3,252a | － |
| 堆肥流通助成件数 | 目標 | 350件 | 325件 | 330件 | 335件 |
| | 実績 | 320件 | 325件 | 250件 | － |

| | |
|---|---|
| 内　容 | 飼料作物等の土地利用集積を推進するため、対象作物の作付面積に応じて支援。 |
| 具体的要件 | 1　対象者<br>経営所得安定対策等実施要綱（以下「実施要綱」という。）Ⅳ第2の6の（1）の戦略作物助成を受ける取組であること。<br>2　対象者<br>飼料作物を出荷・販売することを目的として、取組を行う農業者又は集落営農。<br>3　対象作物、面積<br>実需者へ出荷・販売を行う飼料作物の集積面積。稲発酵粗飼料用稲については、規模要件の面積換算には含めるが加算助成は行わないこととし、飼料作物の集積面積が2．0ha以上であること。また利用権設定された農地による集積も含めるものとする。<br>4　規模要件<br>飼料作物について2．0ha以上の集積又は次に掲げる主要作業のうち2以上の作業受託による集積に係る作業を行うこと。なお、（a）～（d）の区分ごとに1以上の作業を実施した場合、その区分を実施したものとみなす。<br>（a）耕起、整地　（b）は種、育苗、移植　（c）収穫　（d）乾燥、調製 |
| 取組の確認方法 | 1　基本要件の確認<br>実施要綱Ⅳ第2の1の（5）及び（9）に記載のとおり。<br>2　対象者の確認<br>実施要綱Ⅲの2により確認する。<br>3　対象作物、面積の確認<br>現地確認（原則として生産年の7月1日を基準、確認ができない作物は別途基準日を設定）で営農計画書に記載された対象作物が作付けされていることを目視により確認する。<br>4　規模要件の確認<br>営農計画書、作業受委託契約書の写しにより確認する。 |
| 成果等の確認方法 | 当該年度の交付対象面積を集計<br>2023年12月末まで確認する。 |
| 備考 | 同一ほ場で本使途の対象作物が2回以上作付されている場合は、1回のみの助成とする。<br><br>支援年限はR8年　＊R4年度から5年間に一度も水稲作付（WCS・青刈り稲を含む）がおこなわれなかった農地は交付対象水田から除外します。 |

※　課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
※　目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
※　令和５年度から新規に設定した目標については、令和２年度～４年度の目標の記載は不要です。

# 対象作物一覧表

| カテゴリ | 区分 | 作物等名 | 作物コード | 整理番号 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 戦略作物 | 麦 | 小麦 | １００ | 4 | | | | |
| | | 小麦（種子用） | １０１ | | | | | |
| | | 六条大麦 | １０２ | 4 | | | | |
| | | 二条大麦 | １０４ | 4 | | | | |
| | | はだか麦 | １０６ | 4 | | | | |
| | 大豆 | 青大豆 | １０９ | 4 | | | | |
| | | 白大豆（一般） | １２２ | 4 | | | | |
| | | 白大豆（契約） | １２３ | 4 | | | | |
| | | 白大豆（種子用） | １１２ | | | | | |
| | | 黒大豆 | １１０ | 4 | | | | |
| | | 黒大豆（種子用） | １１１ | | | | | |
| | 飼料作物 | 青刈りとうもろこし | １２４ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | ソルガム（青刈りソルガム、スーダングラス） | １２５ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | わら専用稲 | １１３ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | その他青刈り（テオシント、青刈り麦、青刈り大豆、しこくびえ、青刈りひえ） | １２６ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | 永年性牧草（オーチャードグラス、チモシー、トールフェスク、メードフェスク、バヒアグラス、アルファルファ、ケンタッキーブルーグラス、アカクローバー、シロクローバー、ペレニアルライグラス リードカナリーグラス、飼料用シバ） | １２７ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | イタリアンライグラス | １２８ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | その他一年性牧草（ギニアグラス、カラードギニアグラス、ローズグラス、パラグラス、パンゴラグラス、ネピアグラス、オオクサキビ） | １２９ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | 飼料用根菜類（飼料用かぶ、飼料用ビート） | １３０ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | 飼料用穀類（子実用えん麦） | １３１ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | 青刈りハトムギ（飼料用） | １３２ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | 子実用はと麦 | １２１ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | その他飼料作物 | １３３ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | その他飼料作物（資源循環非対象） | １３４ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | | 飼料用青刈り稲 | １５７ | 4 | 6・7 | | 8・9 | |
| | 新規需要米 | 稲発酵粗飼料用稲（専用種）クサノホシ、クサユタカ、クサホナミ、リーフスター、はまさり、ホシアオバ、タカナリ、兵系飼７８号（兵庫牛若丸）、夢あおば | １３５ | 4 | 6・7 | | | |
| | | 稲発酵粗飼料用稲（その他） | １３６ | 4 | 6・7 | | | |
| | そば・なたね 加工用米 | 飼料用米 | １１６ | 4 | 6・7 | | | |
| | | 米粉用米 | １１５ | 4 | | | | |
| | | 加工用米 | １１９ | 4 | | | | |
| | | そば | １１７ | 4 | | | | |
| | | なたね | １１８ | 5 | | | | |
| その他作物 | 野菜 | きゅうり | ２００ | | | | | |
| | | トマト | ２０１ | | | | | |
| | | なす | ２０２ | | | | | |
| | | 大市なす | ２８５ | | | | | |
| | | ピーマン | ２０３ | 1 | | | | |
| | | ししとう | ２８８ | | | | | |
| | | トウガラシ | ２９３ | | | | | |
| | | ズッキーニ | ２８９ | | | | | |
| | | かぼちゃ | ２０４ | | | | | |
| | | くり南瓜 | ２８２ | | | | | |
| | | いちご | ２０５ | 1 | | | | |
| | | すいか | ２０６ | | | | | |
| | | メロン | ２０７ | | | | | |
| | | キャベツ | ２０８ | 1 | | | | |
| | | キャベツ（裏作転作） | ２０９ | | | | | |
| | | はくさい | ２４８ | 1 | | | | |
| | | はくさい（裏作転作） | ２１０ | | | | | |
| | | さんとうさい | ２９２ | | | | | |
| | | ほうれんそう | ２１１ | | | | | |
| | | オクラ | ２６２ | | | | | |
| | | ハス | ２６８ | | | | | |

| カテゴリ | 区分 | 作物等名 | 作物コード | 整理番号 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| その他作物 | 野菜 | ねぎ | ２１２ | 1 | | | | |
| | | 太ねぎ | ２６３ | | | | | |
| | | 岩津ねぎ | ２６５ | | | | | |
| | | 丹波ひかみねぎ | ２６６ | | | | | |
| | | たまねぎ | ２５４ | 1 | | | | |
| | | たまねぎ（裏作転作） | ２１３ | 2 | 3 | | | |
| | | らっきょ | ２９１ | | | | | |
| | | レタス | ２１４ | 1 | | | | |
| | | レタス（裏作転作） | ２６４ | | | | | |
| | | だいこん | ２５６ | | | | | |
| | | だいこん（裏作転作） | ２１５ | | | | | |
| | | 青味だいこん | ２８４ | | | | | |
| | | にんじん | ２１６ | | | | | |
| | | にんじん（裏作） | ２８７ | | | | | |
| | | さといも | ２１７ | | | | | |
| | | れんこん | ２１８ | | | | | |
| | | しょうが（根ｼｮｳｶﾞ） | ２１９ | | | | | |
| | | えだまめ（白大豆） | ２２０ | | | | | |
| | | えだまめ（黒大豆） | ２５５ | | | | | |
| | | 青さやいんげん | ２２１ | | | | | |
| | | 未成熟とうもろこし | ２２２ | | | | | |
| | | 食用ばれいしょ | ２２３ | | | | | |
| | | 食用かんしょ | ２２４ | | | | | |
| | | 尼薩（あまいも） | ２８１ | | | | | |
| | | アスパラガス | ２２５ | | | | | |
| | | きのこ類 | ２２６ | | | | | |
| | | ブロッコリー | ２２７ | 1 | | | | |
| | | ニラ | ２２８ | | | | | |
| | | やまのいも | ２２９ | | | | | |
| | | 未成熟そらまめ | ２３０ | | | | | |
| | | 一寸そら豆 | ２３７ | | | | | |
| | | しゅんぎく | ２３１ | | | | | |
| | | 青さやえんどう | ２３２ | | | | | |
| | | うすいえんどう | ２３８ | | | | | |
| | | かぶ | ２３３ | | | | | |
| | | ごぼう | ２３４ | | | | | |
| | | まくわうり | ２３５ | | | | | |
| | | しろうり | ２３６ | | | | | |
| | | べっちんうり | ２８０ | | | | | |
| | | とうがん | ２８６ | | | | | |
| | | セロリ | ２３９ | | | | | |
| | | 食用ばなな | ２８３ | 1 | | | | |
| | | その他つけな類 | ２４０ | | | | | |
| | | みつば | ２４１ | | | | | |
| | | パセリ | ２４２ | | | | | |
| | | ふき | ２４３ | | | | | |
| | | しそ | ２４４ | | | | | |
| | | なた豆 | ２４５ | | | | | |
| | | うど | ２４６ | | | | | |
| | | キクイモ | ２４７ | | | | | |
| | | チンゲンサイ | ２４９ | | | | | |
| | | その他中国野菜 | ２５０ | | | | | |
| | | その他野菜 | ２５１ | | | | | |
| | | 加工食品用ばれいしょ | ２５２ | | | | | |
| | | カリフラワー | ２５３ | | | | | |
| | | しろな | ２５７ | | | | | |
| | | こまつな | ２５８ | | | | | |
| | | みずな | ２５９ | | | | | |
| | | ヤーコン | ２６０ | | | | | |
| | | わさび | ２６１ | | | | | |
| | | セリ | ２６７ | | | | | |
| | | その他湛水性作物 | ２６９ | | | | | |
| | | モロヘイヤ | ２７０ | | | | | |
| | | バジル | ２７１ | | | | | |
| | | ハーブ | ２９０ | | | | | |

| カテゴリ | 区分 | 作物等名 | 作物コード | 整理番号 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| その他作物 | 野菜 | ニンニク | ２７２ | | | |
| | | ニンニク（特産） | ２７３ | | | |
| | | みょうが | ２７４ | | | |
| | | ゴーヤ | ２７５ | | | |
| | | よもぎ | ２７６ | | | |
| | | わらび | ２７７ | | | |
| | | こごみ | ２７８ | | | |
| | | 施設野菜 | ２７９ | | | |
| | 果樹 | 日本なし | ４０１ | | | |
| | | 西洋なし | ４０２ | | | |
| | | もも | ４０３ | | | |
| | | うめ | ４０４ | | | |
| | | びわ | ４０５ | | | |
| | | かき | ４０６ | | | |
| | | くり | ４０７ | | | |
| | | いちじく | ４０８ | 1 | | |
| | | キウイフルーツ | ４０９ | | | |
| | | ゆず | ４１０ | | | |
| | | すだち | ４１１ | | | |
| | | ブルーベリー | ４１３ | | | |
| | | うんしゅうみかん | ４１４ | | | |
| | | りんご | ４１５ | | | |
| | | ぶどう | ４１６ | | | |
| | | レモン | | | | |
| | | おうとう | ４１７ | | | |
| | | その他果樹 | ４１２ | | | |
| | 花き | 花き | ５００ | | | |
| | | 若松 | ５０１ | | | |
| | | 花木 | ５０４ | | | |
| | | 種苗類 | ５０２ | | | |
| | | 芝 | ５０３ | | | |
| | | ツノナス | ５０５ | | | |
| | | カーネーション | ５０６ | | | |
| | | ストック | ５０７ | | | |
| | | なたね（花） | ５０８ | | | |
| | | キク | ５０９ | | | |
| | 地力増進作物 | キンセンカ | ５１０ | | | |
| | | 地力増進水稲 | ６５８ | | | |
| | | とうもろこし（地力） | ６５０ | | | |
| | | ソルガム（地力） | ６５１ | | | |
| | | クローバー（アカ、シロ） | ６５２ | | | |
| | | れんげ（地力） | ６５３ | | | |
| | | ヘアリーベッチ（地力） | ６５４ | | | |
| | 景観形成作物 | その他地力増進作物 | ６５５ | | | |
| | | コスモス | ７００ | | | |
| | | ひまわり（景観） | ７０１ | | | |
| | | なたね（景観） | ７０２ | | | |
| | | マリーゴールド | ７０３ | | | |
| | | れんげ（景観） | ７０４ | | | |
| | | そば（景観） | ７０５ | | | |
| | | べにばな | ７０６ | | | |
| | | チューリップ | ７０８ | | | |
| | | ヘアリーベッチ（景観） | ７０９ | | | |
| | | その他景観形成作物 | ７０７ | | | |

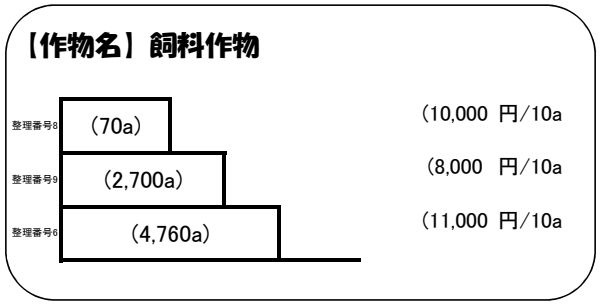
この他、必要な作物コードがありましたら、ご連絡ください。

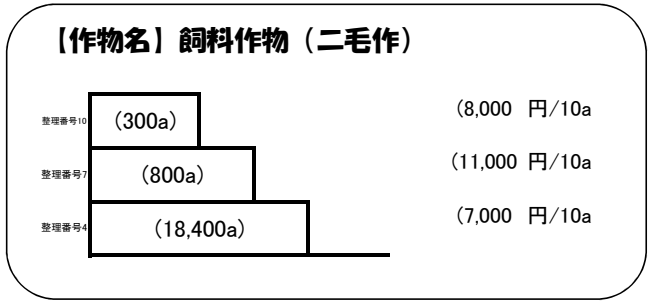
| カテゴリ | 区分 | 作物等名 | 作物コード | 整理番号 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| その他作物 | その他の作物 | ハトムギ | ９００ | | | |
| | | その他雑穀 | ８００ | | | |
| | | 小豆 | ９０１ | | | |
| | | 白小豆 | ９０５ | | | |
| | | 落花生 | ９０２ | | | |
| | | その他豆類 | ９０３ | | | |
| | | 大納言小豆 | ９０４ | | | |
| | | 薬用作物 | ８２５ | | | |
| | | まんねんたけ | ８２６ | | | |
| | | うこん | ８２７ | | | |
| | | ドクタミ | ８４０ | | | |
| | | カワラケツメイ | ８４１ | | | |
| | | その他薬用きのこ | ８２８ | | | |
| | | 香料作物 | ８２９ | | | |
| | | みつ源れんげ | ９１１ | 1 | | |
| | | みつまた | ９１２ | | | |
| | | その他一般作物 | ８４８ | | | |
| | | ひまわり | ８４９ | | | |
| | | 藍 | ８５０ | | | |
| | | ごま | ８５２ | | | |
| | | こうぞ | ９１４ | | | |
| | | 切花用母樹 | ９１５ | | | |
| | | その他永年性作物 | ８２０ | | | |
| | | 山椒 | ８２１ | | | |
| | | 朝倉山椒 | ８２４ | | | |
| | | ユーカリ | ８２２ | | | |
| | | たらの芽 | ８２３ | | | |
| | | たばこ | ８３７ | | | |
| | | こんにゃく | ８３８ | | | |
| | | その他特例作物扱い | ８３９ | | | |
| 水稲 | その他 | 茶 | ９３４ | | | |
| | | 桑 | ９３５ | | | |
| | 新規需要米 | 援助米 | ９１６ | | | |
| | | 試験研究米 | ９１７ | | | |
| | | 新規需要米（輸出用米） | １５４ | | | |
| | | 新規需要米（種子） | １５６ | | | |
| | | バイオ燃料用米 | １５９ | | | |
| | | 新規需要米（その他） | １５５ | | | |
| | 主食用水稲等 | 新規需要米（枠外酒米） | １６４ | | | |
| | | 加工用青刈り稲 | １５８ | | | |
| | | 直播栽培 | １６０ | | | |
| | | 有機栽培 | １６１ | | | |
| | | その他減収栽培 | １６２ | | | |
| | | その他減収栽培（２） | １６３ | | | |
| | | 主食用水稲 | １５０ | | | |
| | | 酒造好適米 | １５１ | | | |
| | | 種子生産ほ場（種子用米） | １５２ | | | |
| | | 備蓄米 | １５３ | | | |

（注意）
上記以外のコードは使用しないで下さい。

（参考）

# 産地交付金助成イメージ図（洲本市地域農業活性化協議会）




（注1）都道府県及び各地域再生協議会で該当する作物について適宜作成
（注2）整理番号は、活用方法の明細の整理番号を記入
（注3）単価や対象面積に応じて、積み木の大きさを変更することも可。ただし、特に面積については、大小関係が分かるように留意
（注4）積み木になる可能性のない設定は記載不要
（注5）府県及び地域再生協議会が作成する際の、

産地交付金で複数使途の助成を受ける作物についてのみ作成してください

## ＜令和５年度　洲本市地域農業活性化協議会　会員名簿　＞

| 役　職 | 氏　名 | 所　　属 | 所属での役職 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 会長 | 齋藤　文拓 | 洲本市農業委員会 | 会長 | |
| 副会長 | 勝矢　幸一郎 | 淡路日の出農業協同組合五色支店 | 五色担当理事 | |
| 副会長 | 光宮　純男 | 淡路日の出農業協同組合洲本支店 | 洲本担当理事 | |
| 監事 | 藪内　真記子 | 女性農業士 | 女性農業士 | |
| | 相曽　高博 | 洲本市農業委員会 | 会長職務代理者 | |
| | 中田　保 | 洲本市農業委員会 | 洲本地域代表役員 | |
| | 船越　忠之 | 洲本市農業委員会 | 五色地域代表委員 | |
| | 宮崎　貴嗣 | 洲本市農業青年会議 | 会長 | |
| | 川端　一司 | 洲本市認定農業者連絡協議会 | 会長 | |
| | 櫛田　国一 | 集落農会（町内集落） | 農会長（洲本地域） | |
| | 粟井　文章 | 集落農会（大年集落） | 農会長（五色地域） | |
| | 森原　弘喜 | 株式会社東海近畿クボタ | ６次産業推進課 | |
| | 國芳　孟 | 広石中の下営農推進協議会 | 集落営農組織 | |
| | 新家　春輝 | （有）新家青果 | 農業生産法人 | |
| | 道満　文貴 | 兵庫県酪農農業協同組合 | 淡路事業所長 | |
| 監事 | 中尾　繁良 | 兵庫県農業共済組合　洲本淡路事務所 | 所長 | |
| | 伊達　克明 | 洲本市産業振興部 | 部長 | |

### オブザーバー

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 谷野　幸弘 | 淡路県民局　洲本農林水産振興事務所 | 農政振興第一課長 |
| | 藤浪　哲也 | 南淡路農業改良普及センター | 所長 |
| | 泉　幸平 | 南淡路農業改良普及センター | 普及主査 |
| 監査 | 打越　克英 | 淡路日の出農業協同組合統括経済センター経済部長 | 本店 |

### 事務局

| | | |
|---|---|---|
| 千草　隆志 | 淡路日の出農業協同組合　洲本経済センター | センター長 |
| 小山田　賢一 | 淡路日の出農業協同組合　五色経済センター | センター長 |
| 中瀬　智之 | 産業振興部 農政課 | 課長 |
| 國芳　俊宏 | 農業委員会事務局 | 局長 |
| 楠　充司 | 産業振興部 農政課 | 課長補佐 |
| 安田　貴史 | 産業振興部 農政課 | 課長補佐 |
| 大傍　善之 | 産業振興部農政課 担い手育成係 | 係長 |
| 上處　雅也 | 産業振興部農政課 農業・農村振興係 | 係長 |
| 黒田　武志 | 〃 | 担当係長 |
| 大原　拓也 | 〃 | 主任 |